

自噴井戸

小川の集落を歩くと、どこからともなく水の流れる音が聞こえてきます。いまでもとうとう湧き続ける小川の水は「鈴鹿山系の湧水」としてペットボトルに入れて市販されています。垣見ではハリヨが生息し、きれいな水にはかえれない梅花藻ばいかもも見られます。

他の地区でも昔はたくさん水が出ましたが、工場ができてからは水量がぐっと減りました。工場の休みの日は水がよく出るそうです。

また、躰光寺の「沢の藪」や垣見の「虚無僧池」、今地先の「チリンさんの森」ではいまでも湧き水が少しずつ出しています。



▲小川の八宮赤山神社の前にこんこんと湧き出る水



◀「鈴鹿山系の湧水」と神郷の清酒「能登川水車」



▲梅花藻のはえる躰光寺川



いまでも少しずつ湧き水が出る躰光寺の「沢の藪」(左)と今地先の「チリンさんの森」